

厳しい医療環境の中、
当院に求められるもの
管理部長 脳神経外科部長
日山博文

ご紹介患者の症例報告

- 第2回 泌尿器科医長
石原順就
- 第3回 皮膚科部長
竹内吉男

News & News

- クレジットカードが使えるよう
になりました
- 第3回 品川高輪医療セミナー
開催のお知らせ
- 第4回 港区医師会・せんぼ東
京高輪病院合同マナー&エチケ
ットセミナー開催のお知らせ



せんぼ
東京高輪病院
地域医療連絡室

〒108-8606
東京都港区高輪3丁目10番11号
tel:03-3443-9576 fax:03-3443-9570
URL:http://www.sempos.or.jp/tokyo

病院理念

私たちは、病に苦しむ人や障害に悩む人に科学的根拠に基づく最善の先進的医療を迅速かつ安全に提供するとともに、人権と個人情報の保護を心がけ、相互信頼に基づく快適な医療の実践に努めます。 せんぼ東京高輪病院

厳しい医療環境の中、 当院に求められるもの

新年あけましておめでとうございます。私共職員は今年も地域の先生方と密接に医療連携をはかり地域医療の充実に励む覚悟しております。今後も先生方のご支援、また叱咤等よろしくお願い申し上げます。

当院の昨年を振り返れば4月から3人の副院長体制となり困難に直面することの多い昨今の病院運営に積極的な舵取りができるようになりました。また職員一同の協力により第45回日本社会保険医学会総会(会長:戸田病院長)は盛会のうちに終わりました。さらに先号の「うえーぶ」でご承知のように日本医療機能評価機構の認定証を無事取得できました。病院の収支も「7対1入院基本料の施設基準取得」により窮することなく年末年始を迎えられました。

しかし医療情勢に目を向けると昨年同様今年も厳しい状況が予想されます。4月からの診療報酬改訂は、本体部分は0.38%のプラスですが薬剤と材料費が1.2%のマイナスのため総体としては0.82%のマイナスになっています。実際はジェネリック転換による減(0.28%マイナス)も織り込まれているため実質1%マイナスです。7対1の加算取得も条件が厳しくなります。当院の診療科をみると新規開院以来外科系手術とICU稼働の一翼を担ってきた心臓血管外科が欠員のため業務縮小となります。このように決して安穏としていられる年の始めではありません。厳しい状況を打開すべく平成17年度から経営改善委員会ワーキンググループを設け各部署の意見を吸い上げ事業計画に反映させています(このグループ会議では病院のイメージアップなど病院環境の充実に提言を行なっています。この成果として懸案事項であったクレジットカードの導入が近日中に行なわれます)。

せんぼ東京高輪病院
管理部長 脳神経外科部長



ひやま ひろゆき
日山 博文

近年厚生労働省が進める病院機能特化の推進は今後の病院経営の舵取りに大きく影響してきます。私に関与する脳卒中の救急に関しても血栓溶解剤tPAの早期投与を念頭に都中央部5区で脳卒中ネットワーク作りが進められています。ただtPAの投与により改善が得られるのは3-4割の患者さんであること、1割は出血等で悪化すること(死亡も含む)、が十分に周知されていません(副作用発生の際の免責保証もありません)。また投与後最低24時間の厳重な集中管理が必要なため、よりいっそうの人的負担を強いられます。都の衛生局の肝いりでもあるこの制度作りは難航が予想されます。一方最近報道される関西方面での夜間救急受け入れ拒否の問題ですがここ都内でも現に生じています。年末豊島区内で深夜発症したくも膜下出血の患者さんが(手術前提での受け入れを何ヵ所もの大病院で断われ)当院に搬送されました。待期移動中に脳動脈瘤が再破裂していたらマスコミに取り上げられるような事例でした。機能特化により大学病院は昼間の紹介患者さんの受け入れで手一杯であり、ERを置く市中病院は殺到する救急患者の対応で青息吐息の状態です。結果として勤務医の過労とリスクの回避の風潮が生じ、このような夜間救急の問題が生じていると思われれます。

混迷する日本医療の行く先をとらえることは困難です。ただ厳しい医療環境の中で現在当院に求められるのは地域に根ざした急性期医療を高度かつ安全に提供することだと思われれます。これを当院の軸足とし、医療の激変に臨機応変に対応できるダイナミズムを失わず平成20年を邁進したいと思っています。最後に皆様方のご健康とご繁栄を祈念して年頭のあいさつとします。



平素より患者さんのご紹介をいただき、ありがとうございます。
昨年ご紹介いただきました前立腺癌の一例をご報告いたします。

【症例】

64歳男性。

K医院にて港区健診を受診、PSA上昇を指摘され、平成19年9月当院へ紹介受診。

初診時PSA10.1ng/ml(正常値は4.0ng/ml以下)と高値であった。PSAのFree/Total比は14%とやや低値であった。(F/T比は15%以下の場合、悪性の疑いが高まるといわれている。)直腸指診にて前立腺がやや硬であったことを考え合わせ、10月に2泊3日の入院の上、腰椎麻酔下に前立腺生検を施行。病理結果は高分化型腺癌 Gleason 2+3=5であった。

前立腺MRIのT2画像(写真1)にて腫瘍の被膜外進展は疑われなかった。

骨シンチ(写真2)にて骨転移は認めず、腹部CT(写真3)にて骨盤内リンパ節など他臓器への転移も明らかでなかった。このため前立腺癌stageBの診断の下、自己血800cc貯血し、11月入院し、恥骨後式前立腺全摘術を施行した。手術時間は2時間46分、出血は630ccであり、自己血の返血のみで対応した。

病理結果は中分化型腺癌、Gleason2+3=5 cap(+)
pT3aN0Mxであった。

術後2週間で尿道バルンカテーテルを抜去した。当初の尿失禁量は1日30gであった。

経過良好で3週間弱で退院した。

術後2ヵ月で尿失禁量はほぼ0gとなった。

病理結果が浸潤癌であったため、高感度PSAを1ヵ月ごとに検査しているが、直近の結果は0.0014ng/mlと十分低下しており、術後内分泌療法なしで経過をみている。

写真1

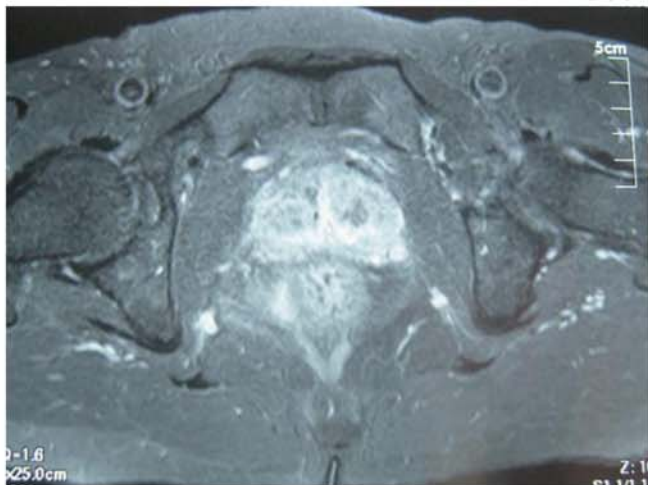


写真2

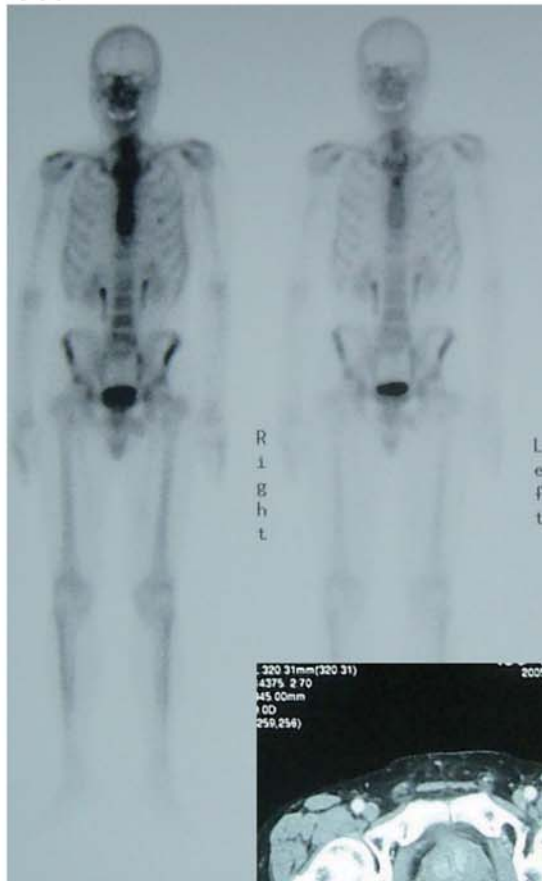


写真3



本症例のように、近年はPSAの普及に伴い早期で発見される前立腺癌の患者さんが増えており、前立腺全摘術の施行例も多くなっています。

本手術は10センチ未満の下腹部正中切開で行なわれるため創は目立たず、また出血量も減ったため自己血の返血以外に輸血を追加することはほとんどなくなりました。術後の尿失禁も軽くなっており、低侵襲化が進んでいます。

また、今でも約半数の患者さんは進行癌で発見されています。内分泌療法のほか、最近は新規抗癌剤や骨代謝抑制剤によるコントロールも行なえるようになり、前立腺癌に対抗する手段は増えつつあります。

地域密着型の病院として、終末期医療についても積極的に行なっており、症例数も豊富です。

今後も先生方からのご紹介をお待ちいたしております。

ご紹介患者の
症例報告 第3回

皮膚科

部長 竹内吉男



いつも多くの患者さんをご紹介していただきありがとうございます。
最近、印象に残った症例を何例かご報告させていただきます。

【症例】

症例1

25歳、独身男性。初診3日前、陰茎亀頭部に小水疱出現、局所に潰瘍と痛みあり。陰部ヘルペスを疑われてTクリニックより紹介受診。その後左そけい部リンパ節の腫脹がみられたが圧痛はありません。採血にてHSV抗体は、IgG、IgMともに陽性。さらにTPHA640倍、ガラス板2倍と陽性で、性器ヘルペスと梅毒（硬性下疳）の混合感染と診断。ペニシリン系抗生剤を内服し潰瘍は4週で略治しました。

この症例に前後して31歳男性も紹介され受診し、やはり混合感染でした。陰部の潰瘍をみた場合、昔に比べ減ったようですが硬性下疳も疑う必要があります。

症例2

29歳、女性。1ヵ月前より左母指腹に血管腫（血管拡張性肉芽腫）が生じ徐々に増大したためIクリニックより治療を依頼されました。局所麻酔後炭酸ガスレーザーにて治療し2週後には略治しました（写真1・2）。

ほかにも指に2例、手のひらに1例受診されました。指先や爪囲など切除縫縮が困難で術後にもしばらく手指の使用が不自由になる場合、有用な治療法と考えます。頭部では広範囲の剃毛は不要です。腫瘍が大きくて出血が心配な場合、電気メスの併用が有用です。

写真1

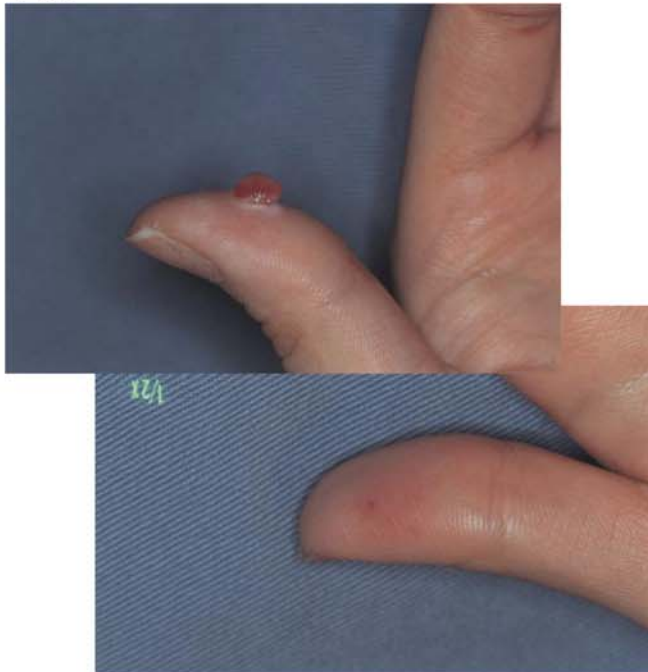


写真2

症例3

50歳、男性。10年来鼻背部に色素斑があって少しずつ拡大あり、基底細胞上皮腫の疑いでS医院より治療依頼で紹介されました。

5×3mmの大きさなので単純に切除縫縮しました。組織診断は充実型のBasal Cell Epithelioma (Carcinoma)です（写真3・4）。放置すると徐々に増大し、いずれ下方に侵食して破壊傾向のある皮膚がんの1種です。

写真3

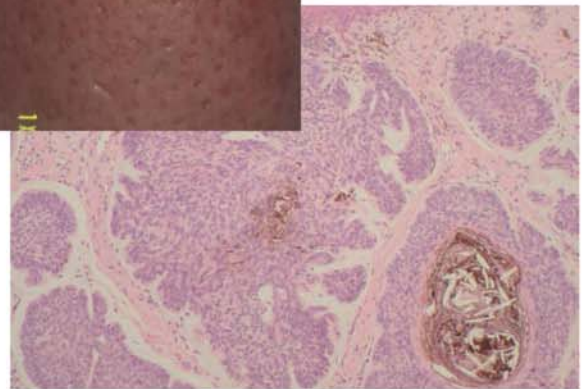


写真4

症例4

9歳、女子。1月に受診。暮れより顔面、上腕、かかとにしもやけ様の紫紅色斑が出現し治療に反応しないため、Hクリニックより紹介受診されました。多型紅斑、凍瘡、膠原病を疑って精査したところ、RF 42 IU/ml, ANA1280倍, 抗dsDNA 172 IU/ml, CH50 13U/ml, Alb 2.2g/dl, 尿蛋白+3, 潜血+2と異常を認め、ほかに関節症状、肝機能障害がみられました。SLEおよびループス腎炎が疑われ、治療が長びくため当院小児科と相談の上、院内学級のある大学病院小児科に転院となりました。

以上ほかにもさまざまな症例をご紹介いただいています。今後ともよろしくご紹介のほどお願い申し上げます。

クレジットカードが使えるようになりました

TVCMで「病院でも診療費の精算にクレジットカードが使える」をご覧になったことはありませんか。このたび当院では本紙の巻頭言でもふれておりますように、患者さんへのサービス向上のひとつとして、以前から要望が多かったクレジットカードが使えるようになりました。

まだ、開始したばかりなので、すべてのカードというわけにはいきませんが、9割方のカード（下欄参照）が窓口・自動精算機で使用いただけます。

今後は取扱いカードの種類も順次拡充してまいりたいと思います。

※使用できるカードの種類

VISA、Master Cardのマークのあるもの、
Nicos、UFJ、DC、銀行のキャッシュカード



第3回

品川高輪医療セミナー 開催のお知らせ

平成19年1月から始まった「品川高輪医療セミナー」ですが、第3回目を下記の要領で開催することとなりました。

今回は「ワーファリンによる血栓塞栓症治療を考える」（仮題）というテーマで東邦大学大橋病院 循環器内科教授 杉 薫先生を講師にお迎えして実施します。

日時 平成20年2月28日（木） 午後7時30分～

会場 当院1階 外来ホール

各セミナーへの参加申し込みにつきましては、
「地域医療連絡室 3443-9576」までご連絡下さい。
皆様の参加をお待ち申し上げております。

第4回

港区医師会・せんぼ東京高輪病院 合同マナー&エチケットセミナー 開催のお知らせ

医療機関で働く職員を対象とした接遇研修を実施することにより、患者サービスの向上を図ることを目的として毎年医師会と共催しておりますセミナーも回を重ね4年目となりました。毎回ご好評をいただいております。昨年は外部医療機関から56名の方々に受講いただきました。

今年は丸善株式会社で顧客サービスの教育研修を専門に担当されている尾関伯房先生を講師にお招きして下記のとおり実施することとなりました。

是非この機会に受講されてみてはいかがでしょうか。

日時 平成20年3月10日（月） 午後7時～

会場 当院1階 外来ホール

アルバムから



クリスマスコンサート 2007.12.19 ポニージャックス

編集後記



節分ディスプレイ（看護部作）

遅くなりましたが、新年あけましておめでとうございます。

新しい年も早いものでもう2月、節分を迎えようとしております。4月から実施される診療報酬改定の内容に関しては大詰めを迎え、情報が飛び交う時期となりました。いずれにしても医療現場にとりましては厳しい状況が続くことになりそうです。

前号からレイアウトを変更いたしました「うゑーぶ」はいかがでしょう。

本年も先生方と当院の連携スクラムをより強固にするように、地域医療連絡室は取り組んでまいります。昨年以上のご意見ご要望を賜りますようスタッフ一同願っております。

本年もよろしくご指導くださるようお願い申し上げます。